

中野区の★“ものしり博士”の皆さんおめでとうございます。

第12回中野区検定は、令和7年11月30日（日）産業振興センターにおいて午前10時より、受検者69名で実施しました。

受検者のうち、高得点の10名を「ものしり博士」に認定しました。

「ものしり博士」になられた10名の方は、中野区のことを理解し関心を持てることがよくわかりました。おめでとうございます。

また、惜しくも「ものしり博士」にはなれなかった方々も中野区に関心をお寄せいただきありがとうございます。

中野区検定のアンケートによると、今回写真を使った問題については好印象でしたがやはり「とても難しかった」が多数を占めていました。また、「中野区検定を学ぶことで家族や友人に中野のおすすめスポットや雑学を紹介できるようになるといい。」のご意見もいただきました。

認定授与式は、令和8年1月9日（金）に中野区役所第605会議室で執り行いました。そして、令和6年度から3回以上ものしり博士に認定されている方を「特級ものしり博士」に認定することとしました。今回も1名の方が認定されました。

この検定は、中野区・中野区教育委員会に後援していただいている事もあり、来賓として区長酒井直人様、区議会議長森たかゆき様、教育長田代雅規様にご臨席賜りました。

祝辞を区長、議長、教育長よりいただきました。

特に第1回中野区検定のものしり博士でもある区長からは、「問題を見ていると段々問題が難しくなっている。区職員の新人にも受けさせており、中野区のことを知って仕事に励んでもらいたい。」との発言がありました。そして、議長からも中野区検定事業の意義や継続。また、教育長からは中野区検定への挑戦のお言葉もありました。中野区教育振興会の発展にも大きな期待を寄せていただきました。



ものしり博士は、座席に座っておられる10名です